

論文

## 中国語における「V + “得” / “不” + “来”」の構文的特徴に関する考察

丁 飒飒<sup>1</sup>

### A Study on the Structural Character of “V +De/Bu+ Lai” in Chinese

Sasa DING<sup>1</sup>

#### ABSTRACT

In this paper I considered the structural character of “V +De/Bu+ Lai” structures in Chinese. The following conclusions were obtained.

When V is a volitional verb, it means whether or not the action can be realized. V can be the verb that represents mutual activities, the verb that represents eating, the verb that represents the movement like “Shang” “Xia” “Jin” “Chu” “Hui” “Guo”, the verb that represents expression activities, the verb that represents causing a change of ownership, the verb that represents execution or correspondence.

When V is a non-volitional verb, it means whether or not the phenomenon will appear. V can be the non-volitional verb, the verb that represents the movement of inanimate subject. When V is a non-volitional verb, “V +Bu+ Lai” is a natural sentence, but “V +De+ Lai” does not seem to appear in a statement sentence. However, when it is an interrogative sentence, or when it's concurrent with the adverb which shows denial like “Mei” “Meiyou” “Weibi”, or when it's concurrent with the adverb which shows time like “Cai”, or when it is used as parallel construction, “V +De+ Lai” is a natural sentence.

キーワード 可能補語, 方向補語, 意志動詞, 無意志動詞

**Keywords:** potential complement, directional complement, volitional verb, non-volitional verb

#### 1. はじめに

中国語には「V + “得” + “来”」「V + “不” + “来”」構造の可能表現がある。しかし、両者が具体的にどのような分布しているか、先行研究で示されたルールは充分とはいえない。本稿では、「V + “得” + “来”」「V + “不” + “来”」のような構造を「V + “得” / “不” + “来”」と呼ぶことにする。以下では、「V + “得” / “不” + “来”」構造のVについて、意志動詞と無意志動詞に分け、それぞれの構文的特徴について明らかにしたい。

#### 2. 先行研究の問題点と本稿の立場

「V + “得” / “不” + “来”」構造の構文的特徴に関する研究は劉月華 (1998), 安本真弓 (2009) などが挙げられる。劉月華 (1998:59) では、“醒”は「V + “得” / “不”

+ “来”」構造のVにはならないとされている。確かに平叙文に用いられる場合、“醒得来”のような表現はほとんどないが、疑問文という構文的条件の場合において“醒得来”が容認される。さらに、“醒不来”は疑問文のような構文的条件を必要とせず、平叙文にも生起する。以下の反例はその裏付けである。

- (1) 这回你醒得来吗? (人民网2010年1月11日) (今回、君は目覚めることができるだろうか? <sup>1)</sup>)
- (2) 田小黎说:“睡着了还醒得来吗?” (柯云路《芙蓉国》2008) (「眠ったら、また目覚めることができるのか?」と田小黎は言った。)
- (3) 如果早晨实在醒不来, 睡前可以让窗帘留出一条缝, 让第二天的自然光来唤醒沉睡的身体。(人民网2016年9月22日) (もしどうしても朝は起きられない

<sup>1</sup> 891-0197 鹿児島市坂之上8-34-1 鹿児島国際大学大学院国際文化研究科博士後期課程

The International University of Kagoshima Graduate School Intercultural Studies Doctor Program, 8-34-1 Sakanoue, Kagoshima 891-0197, Japan  
2017年5月26日受付, 2017年8月25日採録

なら、寝る前にカーテンをわずかに開けておいて、翌日の自然な光に眠っている体を起こしたほうがいい。)

(4)我告诉自己一定要睁开眼睛，不然可能会再也醒不来。(人民网2014年10月28日) (「絶対に目を閉じるな」と自分に言い聞かせた。そうでないと、二度と目覚めることができないかもしれない。)

例(1)(2)における“醒得来”も例(3)(4)における“醒不来”もいずれも自然な表現である。このことから、刘月华(1998)の解釈は事実と合わないといわざるをえない。つまり、“醒”という無意志動詞は「V + “得” / “不” + “来”」構造の前置動詞のVになりうるのである。

一方、安本真弓(2009:86)では、「V + “得” / “不” + D」<sup>2)</sup>のような趨向性可能補語の構文的条件について、「V」項が非自主動詞<sup>3)</sup>である場合、「V + “得” / “不” + D」構造は成り立たないとされている。しかし、コーパス<sup>4)</sup>を調べた結果、反例が数多く見られた。下記の例(5)(6)における「V + “得” / “不” + “来”」構造の「V」項は安本真弓(2009)がいう非自主動詞として認めなければならない。

(5)我告诉他们喀纳斯的第一场雪一般要到10月中旬才下得来。(康剑《聆听喀纳斯》2015) (「ハナスの初雪は普通10月中旬になってからはじめて降ってくるものだ」とあの人たちに教えた。)

(6)那天有下雨的迹象，天色晦暗，但雨却迟迟下不来。(苏童《平静如水》1988) (その日雨が降りそうで、空も暗くなり、けれど雨はなかなか降ってこなかった。)

例(5)(6)における“下得来”“下不来”はいずれも「雪」「雨」という非情物の動きを表しているので、いわゆる非自主動詞として認められる。そのため、安本真弓(2009)がいう「V」項が非自主動詞である場合、「V + “得” / “不” + D」構造が成り立たないという説明では例(5)(6)における“下得来”“下不来”の意味・用法をカバーすることができない。このことから、「V + “得” / “不” + “来”」構造の意味・用法について分析する場合、いわゆる非自主動詞も視野に入れるべきである。

また、安本真弓(2009:44)では「V + “得” / “不” + “来”」のような可能補語<sup>5)</sup>の意味について「ある動作を実現後、ある結果の出現が可能・不可能であることを表す」とされている。しかし、この解釈では、下記の例(7)をカバーすることができない。

(7)口味不合适，他们喜欢吃辣的，吃麻的，我吃不来，短时间还可以将就，长时间做不到。(人民网2014年2月7日) (口に合わないのだ。私はあの人たちが好きな

辛いものや舌が痺れるようなものは食べられない。短い間だったらまだ我慢できるが、長期間は無理だ。)

例(7)における“吃不来”は安本真弓(2009)に基づいて解釈すれば、「食べるという動作を実現した後、ある結果の出現が不可能であることを表す」ということになり、安本真弓(2009)がいう「結果」は何を指しているかが不明である。また、「V + “得” / “不” + “来”」構造のVが意志動詞である場合、以下のような用例も見られる。

(8)他就是这么个人，和谁都处得来。(人民网2000年10月10日) (彼はそういう人で、誰ともうまく付き合える。)

(9)我们3人，各自带一个通信员，组成3个爆破组，把敌人的火力点炸掉，增援部队才上得来。(长江日报2010年7月23日) (私たち三人はそれぞれ通信係の一人と組み、三つの爆破班になって、敵の火力陣地を爆破すれば、増援部隊ははじめて登って来られる。)

(10)我做不来记者这行。(人民网2016年7月7日) (私はジャーナリストという職業には就けない。)

例(7)における“吃不来”と例(8)(9)(10)における“处得来”“上得来”“做不来”の意味の違いについて、刘月华(1998)においても、安本真弓(2009)においても詳しく言及されていない。

以上の事実が示すように、先行研究では、「V + “得” / “不” + “来”」構造の構文的特徴の全容が明らかにされていないといえる。刘月华(1998)、安本真弓(2009)に対して、本稿では、「V + “得” / “不” + “来”」構造の意味・用法について新たな仮説を提案する。

(11)「V + “得” / “不” + “来”」構造の前置動詞のVが意志動詞である場合、「ある動作が実現できるかどうか」という意味を表す。前置動詞のVが無意志動詞である場合、「ある現象が現れるかどうか」という意味を表すが、「V + “得” + “来”」は特殊な構文的条件を必要とし、「V + “不” + “来”」は特殊な構文的条件を必要としない。

上記の(11)は本稿の仮説である。以下では、この仮説に基づいて本稿の提案の妥当性について証明する。3.では前置動詞のVが意志動詞である場合の意味・用法を明らかにし、4.では前置動詞のVが無意志動詞である場合の意味・用法を明らかにする。5.では、まとめを行う。

### 3. 前置動詞のVが意志動詞である場合

この節では、前置動詞のVが意志動詞である場合の「V + “得” / “不” + “来”」の意味・用法について考察する<sup>6)</sup>。この場合、「V + “得” / “不” + “来”」は「ある動作が実現できるかどうか」という意味を表す。

「V + “得” / “不” + “来”」構造の前置動詞のVが相互的な活動を表す動詞<sup>7)</sup>の“相处”“处”“谈”“说”<sup>8)</sup>などである場合、Vは「付き合う」という意味を、“得” / “不”は「できるかどうか」という意味を、“来”は「うまく実現する」という意味を表す。この場合の「V + “得” / “不” + “来”」構造は「仲良くすることが実現できるかどうか」という意味を表す。

(12)他是那么随和,好像与任何人都相处得来。(人民网2004年8月25日)(あの人は穏やかな性格の持ち主で、誰とでもうまく付き合える。)

(13)现在夫妻俩跟儿子住,但他还专门在单位宿舍留了套房,担心儿子结婚了,两代人相处不来。(人民网2013年1月22日)(あの夫婦は今息子さんと一緒に暮らしている。しかし、息子の父はもしかしたら息子さんが結婚して、息子夫婦とうまく付き合えないかもしれないと心配し、勤め先の寮にも自分たちの部屋を用意している。)

(14)他就是这么个人,和谁都处得来。(例(8)を再掲)(彼はそういう人で、誰ともうまく付き合える。)

(15)我在那儿没有自己的朋友,他的朋友我又处不来。(人民网2002年11月25日)(そこには自分の友だちがない。彼の友だちとはうまく付き合えない。)

例(12)～(15)における“相处”“处”は相互的な活動を表す動詞である。例(12)(14)における“相处得来”“处得来”は「仲良くすることが実現できる」という意味を表す。例(13)(15)における“相处不来”“处不来”は「仲良くすることが実現できない」という意味を表す。

(16)孩子,你与我家小芳谈得来吗?(人民网2014年5月18日)(坊や。うちの芳ちゃんとうまくやっているのかい?)

(17)因为我们谈不来就不了了之。(人民网2014年9月16日)(わたしたちは話が合わないから、話がうやむやになってしまった。)

(18)因为老爷子和我的儿子都在美国,一样读完博士,在美国成家,生子,工作,我们有很多共同的话题,比较熟,也比较说得来。(人民网2016年2月2日)(あのお爺さんの息子さんも私の息子もアメリカにいて、博士課程を終え、アメリカで結婚し、そして子供がで

きて、向こうで仕事をしている。私はあのお爺さんと共通の話題が多いし、互いによく知っているし、話が合う。)

(19)那也得找得到才行,你和这个人根本说不来,找他有什么意思?(人民网2003年11月8日)(もし見つけ出すことができたならそれはそれでいいけど、君はあの人と全然話が合わないし、会ってどうするの?)

例(16)～(19)における“谈”“说”は相互的な活動を表す動詞である。例(16)(18)における“谈得来”“说得来”は「仲良くすることが実現できる」という意味を表す。例(17)(19)における“谈不来”“说不来”は「仲良くすることが実現できない」という意味を表す。

「V + “得” / “不” + “来”」構造の前置動詞のVが飲食を表す動詞の“吃”“喝”などである場合、Vは「食べる」という意味を、“得” / “不”は「できるかどうか」という意味を、“来”は「実現する」という意味を表す。この場合の「V + “得” / “不” + “来”」構造は、「(食べ物に慣れて)食べることが実現できるかどうか」という意味を表す。

(20)有一样东西可能你不一定吃得来,这东西就是——鱼腥草,四川叫“折耳根”。(人民网2016年7月14日)(多分あれなら、君も食べられるとは限らない。あれというのは、ドクダミのことで、四川省では“折耳根”と呼ぶのだ。)

(21)口味不合适,他们喜欢吃辣的,吃麻的,我吃不来,短时间还可以将就,长时间做不到。(例(7)を再掲)(口に合わないのだ。私はあの人たちが好きな辛いものや舌が痺れるようなものは食べられない。短い間だったらまだ我慢できるが、長期間は無理だ。)

(22)可能北京人比较喜欢,但外地人未必喝得来。(人民网2016年12月26日)(北京の人は好きかもしれないが、地方の人も飲めるとは限らない。)

(23)王好说,我不去,我又喝不来酒。(三石《捕鱼者说》2013)(「行かないよ。お酒も飲めないし」と王好は言った。)

例(20)～(23)における“吃”“喝”は飲食を表す動詞である。例(20)における“吃得来”は「(ドクダミに慣れて)食べることが実現できる」という意味を表す。例(21)における“吃不来”は「(辛いものと舌が痺れるようなものに慣れて)食べることが実現できない」という意味を表す。例(22)における“喝得来”は「(飲み物に慣れて)飲むことが実現できる」という意味を表す。例(23)における“喝不来”は「(酒に慣れて)飲むことが実現できな

い」という意味を表す。

また、「V + “得” / “不” + “来”」構造の“来”は「実現する」という意味を表す理由について、“来”の転義に求められる。“来”の基本義は「話者のもとへの移動」である。“买得来”は「買うことが実現できる」という意味を表すが、“来”は「商品の所有権が話者のもとへの移動」という意味で解釈できる。しかし、前置動詞の“买”（買う）には「商品の所有権の移動」という意味も含まれているため、“来”の本来の「(商品の所有権が) 話者のもとへの移動」の意味は“买”によって失われ、「実現する」という意味で解釈できるようになったのではないと思われる。つまり、「V + “得” / “不” + “来”」構造の“来”は“来”の転義によって「実現する」という意味を表すのである。

「V + “得” / “不” + “来”」構造の前置動詞のVが移動の意味を含む動詞の“上”“下”“进”“出”“回”“过”である場合、Vは「移動」という意味を、“得” / “不”は「できるかどうか」という意味を、“来”は「話者のいる場所への移動の実現」という意味を表す。この場合の「V + “得” / “不” + “来”」構造は「話者のいる場所への移動が実現できるかどうか」という意味を表す。この場合の主体は有情物である。

(24)我们3人, 各自带一个通信员, 组成3个爆破组, 把敌人的火力点炸掉, 增援部队才上得来。(例(9)を再掲)(私たち三人はそれぞれ通信係の一人と組み, 三つの爆破班になって, 敵の火力陣地を爆破すれば, 増援部隊ははじめて登って来られる。)

(25)车厢已经满了, 确实已经上不来了, 你们可以偷个懒, 回家的时候家人已经做好饭了。(人民网2012年11月12日)(車両はもう一杯で, 本当にもう乗れない。君たちはサボっていいよ。家に帰ったときは, 多分家族はもうご飯を作って待っている。)

(26)有经验的猎人上山, 天黑都不一定下得来。(钱江晚报2011年9月20日)(経験のあるハンターでも山に登ったら, 暗くなるまでに降りられるとは限らない。)

(27)可能是老太受到了惊吓, 也可能是那名男子力气不够了, 一直没有办法把老太拉回屋里, 眼看着老太坐在二楼窗罩上下不来, 大家都跟着着急。(千山晚报2017年2月17日)(お婆さんがびっくりしたせいなのか, それともあの男の力が足りなかったのか, いつまでたってもお婆さんを部屋の中に引きずり込むことができなかった。お婆さんが二階の面格子に乗って降りられないのを見て, みんなも焦り出した。)

例(24)(25)における“上”は上への移動を表す動詞で, 例(26)(27)における“下”は下への移動を表す動詞である。例(24)における“上得来”は「話者のいる敵の火力陣地(上)への移動が実現できる」という意味を, 例(25)における“上不来”は「話者のいる車両(上)への移動が実現できない」という意味を表す。例(26)における“下得来”は「話者のいる山の麓(下)への移動が実現できる」という意味を, 例(27)における“下不来”は「話者のいる場所(下)への移動が実現できない」という意味を表す。

(28)万一失火了, 消防车进得来吗? (人民网2013年7月22日)(万が一火事にでもなったら, 消防車は入って来られるのか?)

(29)士兵想推门进来, 门是反锁着的, 他进不来。(邓一光《我是太阳》1997)(兵士はドアから入ろうとした。しかし, ドアは反対側からロックされているので, 入って来られないのだ。)

(30)半间教室是原来的办公室, 只有十来平方米, 课桌椅摆得太密集, 中间没有过道, 下课时, 学生踩在课桌上才出得来。(都市快报2011年4月17日)(教室の半分はもともと事務室だった。十何平方メートルしかない。教室の机が密集しているので, 通れるスペースがない。授業が終わった時, 学生は机に登ってようやく出られる。)

(31)你发疯了吗? 想陷在里面出不来吗? (李国文《冬天里的春天》1981)(正気か? 中に閉じこめられ, 出られないことになったらどうする?)

例(28)(29)における“进”は中への移動を表す動詞で, 例(30)(31)における“出”は外への移動を表す動詞である。例(28)における“进得来”は「話者のいる中への移動が実現できる」という意味を, 例(29)における“进不来”は「話者のいる中への移動が実現できない」という意味を表す。例(30)における“出得来”は「話者のいる外への移動が実現できる」という意味を, 例(31)における“出不来”は「話者のいる外への移動が実現できない」という意味を表す。

(32)他想: 婚离得了吗? 林珠回得来吗? (池莉《来来往往》1998)(「離婚できるのか? 林珠は戻って来られるのか?」と彼は思った。)

(33)有时候家长回不来, 孩子就吃住在我这。(人民网2017年5月5日)(時々親が戻って来られない場合には, 子供は私のところで生活する。)

(34)这里是名副其实的死亡地带, 你们过得来么, 你们

过得来么? (魏巍《东方》1979) (ここは評判通りのデスゾーンだ。君たちはここまで来られるのか? 君たちはここまで来られるのか?)

- (35) 因为吊桥断了, 忠叔也过不来了, 班淑决定自己去找父亲, 与忠叔就此别过。 (人民网2016年2月25日) (つり橋が切れてしまったので、忠おじさんはもうここまで来ることができない。班淑は自分で父親を探しに行くと決めた。忠おじさんと別れを告げた。)

例(32)(33)における“回”は元の場所への移動を表す動詞で、例(34)(35)における“过”は一定の距離を越える移動を表す動詞である。例(32)における“回得来”は「話者のいる元の場所への移動が実現できる」という意味を、例(33)における“回不来”は「話者のいる元の場所への移動が実現できない」という意味を表す。例(34)における“过得来”は「デスゾーンを越えて話者のいる場所への移動が実現できる」という意味を、例(35)における“过不来”は「つり橋を越えて話者のいる場所への移動が実現できない」という意味を表す。

前置動詞のVが移動の意味を含む動詞の場合、“来”“去”は「V + “得” / “不” + “来”」構造のVにはならない。なぜなら、“来”は「V + “得” / “不” + “来”」における“来”と同じ意味であるため、“来”と共に起できず、“去”は話者から離れる移動を表し、「V + “得” / “不” + “来”」における“来”の意味と真逆になるため、“来”と共に起できないのである。

「V + “得” / “不” + “来”」構造の前置動詞のVが表現活動を表す動詞の“形容”“唱”などである場合、Vは「表現する」という意味を、“得” / “不”は「できるかどうか」という意味を、“来”は「実現する」という意味を表す。この場合の「V + “得” / “不” + “来”」構造は「表現することが実現できるかどうか」という意味を表す。

- (36) 他的个人魅力, 不是我的秃笔可以形容得来的。 (人民网2008年7月23日) (あの人の魅力は、私の拙筆では、表現できるものではない。)
- (37) 形容不来那是种什么心情, 就是开心。 (人民网2017年1月24日) (あの気持ちを表現できないが、とにかくうれしいのだ。)
- (38) 有6首是我写的, 其余的都是我们同学写的, 每一首都唱得来。 (天府早报2004年8月17日) (6曲は私が書いたもので、ほかは全部クラスメイトが書いたものである。どの曲も歌える。)
- (39) 我觉得很好听, 但自己唱不来, 可能因为我是上海

人的缘故。 (人民网2009年5月6日) (いい歌だと思うが、私には歌えない。上海出身だからかもしれない。)

例(36)～(39)における“形容”“唱”は表現活動を表す動詞である。例(36)における“形容得来”は「表現することが実現できる」という意味を、例(37)における“形容不来”は「表現することが実現できない」という意味を表す。例(38)における“唱得来”は「歌うことが実現できる」という意味を、例(39)における“唱不来”は「歌うことが実現できない」という意味を表す。

「V + “得” / “不” + “来”」構造の前置動詞のVが客体の従属変化を引き起こす動詞の“买”“借”などである場合、Vは「買う」「借りる」という意味を、“得” / “不”は「できるかどうか」という意味を、“来”は「実現する」という意味を表す。この場合の「V + “得” / “不” + “来”」構造は「買うことや借りることが実現できるかどうか」という意味を表す。

- (40) 我们买得来技术和专利权, 但永远买不来关键技术和研发能力。 (《中国经济和信息化》2012年7月26日) (技術と使用権は買えるが、核心的な技術と開発能力は永遠に買えないのだ。)

- (41) 在节目中有一位企业老板的感慨让人记忆深刻, 他说30年的打拼攒下来的钱买不来北京的一套房子。 (人民网2012年9月21日) (あの番組に登場したある企業の社長さんの感想は今でも鮮明に覚えている。「30年間頑張ってコツコツ貯めた金でも、北京の部屋一つすら買えないのだ」と彼は言った。)

- (42) 在这个国家, 借得来钱, 就是好汉, 老人家一辈子借过多少钱? 你问问他去! (严歌苓《花儿与少年》2004) (この国では、お金を借りられる人こそが「漢」だ。あのお爺さんが一生でどれほどの金を借りたことがあるか、自分で聞いてみなさい。)

- (43) 可是, 我能借的都借了, 能想的办法都想了, 实在借不来钱了。 (人民网2006年12月5日) (しかし、借りられるところからは全部借りてきたし、考えられる方法も全部試した。どうしても金が借りられないのだ。)

例(40)～(43)における“买”“借”は客体の従属変化を引き起こす動詞である。中国語における“借”は「借りる」と「貸す」という二つの意味があるが、「V + “得” / “不” + “来”」構造と共に起する場合は「借りる」の意味しか表せない。例(40)における“买得来”は「買うことが実現できる」という意味を、例(41)における“买不来”は「買うことが実現できない」という意味を表す。例(42)における“借得来”は「金を借りることが実現

できる」という意味を、例(43)における“借不来”は「金を借りることが実現できない」という意味を表す。

また、「V + “得” / “不” + “来”」構造の前置動詞のVが実行・対応の意味を含む動詞の“做”“干”“应付”“照顾”などである場合、Vは「実行する」「対応する」という意味を、“得” / “不”は「できるかどうか」という意味を、“来”は「実現する」という意味を表す。この場合の「V + “得” / “不” + “来”」構造は「実行することや対応することが実現できるかどうか」という意味を表す。

(44)楼晓立的平衡术，不是所有妈妈都能做得来。(人民网2017年5月9日)(楼晓立の両立する術を、すべてのお母さんができるわけではない。)

(45)我做不来记者这行。(例(10)を再掲)(私はジャーナリストという職業には就けない。)

(46)换别的工作，我不一定干得来，想着也差不多过年了，就干脆先回家了。(人民网2009年2月9日)(転職しても、その仕事ができるとは限らないし、もうすぐ年末だということを考えたら、とりあえず先に実家に帰ろうと思った。)

(47)家里也给他找过别的工作，可他就是干不来。(人民网2001年10月11日)(家族も彼に別の仕事を紹介したことがあるが、彼はどうしてもできないのだ。)

例(44)～(47)における“做”“干”は実行の意味を含む動詞である。例(44)における“做得来”は「両立する術をやることが実現できる」という意味を、例(45)における“做不来”は「ジャーナリストという職業に就くことが実現できない」という意味を表す。例(46)における“干得来”は「仕事をすることが実現できる」という意味を、例(47)における“干不来”は「別の仕事をすることが実現できない」という意味を表す。

(48)我应付得来的。(张小娴《幸福鱼面颊》2000)(私は対応できる。)

(49)毕竟在国外学了那么多年，干专业以外的工作怕自己应付不来。(人民网2012年9月11日)(海外で何年も勉強してきたのに、専門外の仕事の場合、私には対応できないのではないかと不安になった。)

(50)就算爸爸不在家，也完全照顾得来自己。(人民网2016年10月19日)(父さんが家にいなくとも、自分で自分の面倒を見られる。)

(51)因为老人年纪大了，身体疾病多，子女工作忙，照顾不来。(人民网2016年8月8日)(あの爺さんは年もとってるし、患っている病気も多いし、息子や娘たち

はみんな仕事で忙しくて、爺さんの面倒を見切れないのだ。)

例(48)～(51)における“应付”“照顾”は対応の意味を含む動詞である。例(48)における“应付得来”は「この事態に対応することが実現できる」という意味を、例(49)における“应付不来”は「専門外の仕事に対応することが実現できない」という意味を表す。例(50)における“照顾得来”は「自分の面倒を見ることが実現できる」という意味を、例(51)における“照顾不来”は「爺さんの面倒を見ることが実現できない」という意味を表す。

この節の分析結果をまとめると、以下のようになる。「V + “得” / “不” + “来”」の前置動詞のVが意志動詞である場合、「ある動作が実現できるかどうか」という意味を表す。具体的に、前置動詞のVが相互的な活動を表す動詞である場合、「仲良くすることが実現できるかどうか」という意味を表す。前置動詞のVが飲食を表す動詞である場合、「食べ物に慣れて食べることが実現できるかどうか」という意味を表す。前置動詞のVが移動の意味を含む動詞の“上”“下”“进”“出”“回”“过”である場合、「話者のいる場所への移動が実現できるかどうか」という意味を表す。前置動詞のVが表現活動を表す動詞である場合、「表現することが実現できるかどうか」という意味を表す。前置動詞のVが客体の従属変化を引き起こす動詞である場合、「買うことや借りることが実現できるかどうか」という意味を表す。前置動詞のVが実行・対応の意味を含む動詞である場合、「実行することや対応することが実現できるかどうか」という意味を表す。

#### 4. 前置動詞のVが無意志動詞である場合

この節では、前置動詞のVが無意志動詞である場合の「V + “得” / “不” + “来”」構造の意味・用法について考察する。この場合、「V + “得” / “不” + “来”」は「ある現象が現れるかどうか」という意味を表し、認識の可能<sup>9)</sup>である。「V + “不” + “来”」は自然な表現ではあるが、「V + “得” + “来”」は平叙文に用いられることがほとんどないようである。そのため、これまでの研究では、Vが無意志動詞の「V + “得” + “来”」は研究対象とされていない。しかし、コーパスを調べたところ、Vが無意志動詞の「V + “得” + “来”」の用例が数多く見られる。つまり、Vが無意志動詞の「V + “得” + “来”」は特殊な構文的条件を満たせば、自然な

文になるのである。この節では、さらに「V + “得” + “来”」の場合と「V + “不” + “来”」の場合に分けて考察する。

#### 4.1. 「V + “得” + “来”」の場合

前置動詞のVが無意志動詞である場合、「V + “得” + “来”」構造は「ある現象が現れる」という意味を表す。実際の用例を観察してみたところ、Vが無意志動詞の「V + “得” + “来”」は四つの場合にのみ成り立つ。具体的にいえば、疑問文の場合、否定を表す副詞“没”“没有”“未必”と共起する場合、時間を表す副詞“才”と共起する場合、並列構造の場合である<sup>10)</sup>。

##### 4.1.1. 疑問文の場合

Vが無意志動詞の「V + “得” + “来”」は疑問文においては自然な表現である。

(52) 这回你醒得来吗? (例(1)を再掲) (今回、君は目覚めることができるだろうか?)

(53) 所以如果这时候您还喝牛奶, 您想想, 您的血压怎么下得来? (张悟本《把吃出来的病吃回去》2009) (こんな時に牛乳を飲んだら、どうなるか、考えてみてください。血圧は下がるはずがないだろう。)

(54) 你们看, 过去架起的管渠有的又被埋入地下, 落差一米多, 水哪里过得来啊? (京华时报2011年6月3日) (見てください。昔建てられた水路はまた地下に埋まってしまった。段差は1メートルもあり、水が流れてくるはずがないだろう。)

例(52)(53)(54)は疑問文で、「V + “得” + “来”」における“醒”“下”“过”は無意志動詞である。例(52)における“醒得来”は「『目が覚める』という現象が現れる」の意味を表す。例(53)における“下得来”の主語が非情物の「血圧」であるため、無意志動詞である。この場合、“下得来”は「『血圧が下がる』という現象が現れる」の意味を表す。例(54)における“过得来”の主語が非情物の「水」であるため、無意志動詞である。この場合、“过得来”は「『水がこちらに流れてくる』という現象が現れる」の意味を表す。

##### 4.1.2. 否定を表す副詞“没”“没有”“未必”と共起する場合

Vが無意志動詞の「V + “得” + “来”」が否定を表す副詞“没”“没有”“未必”と共起する場合においては自然な表現である。

(55) 前半夜看了几回, 后半夜困得厉害了, 我睡死再没醒得来嘛。(柳青《铜墙铁壁》1976) (夜に何回も見たが、夜中になると眠すぎて、死んだように眠ってしまった

てから目覚めることはなかった。)

(56) 雷声很响, 但是雨点没有下得来。(人民网2013年3月6日) (雷の音が大きく鳴ったが、雨粒は降ってくることはなかった。)

(57) 政府采购定价低只是一个方面, 提高了价格质量也未必上得来, 一类疫苗实际上是垄断经营, 没有竞争。(《中国财富》2013年9月10日) (政府による購入価格は低いというのもあって、購入価格を上げて品質も同様に上がってくるとは限らない。ワクチンI類は実質上独占経営で、競争はない。)

例(55)(56)(57)における“醒”“下”“上”は無意志動詞である。例(55)における“醒得来”は「『目が覚める』という現象が現れる」の意味を表す。例(56)における“下得来”の主語が非情物の「雨粒」であるため、無意志動詞である。この場合、“下得来”は「『雨が降る』という現象が現れる」の意味を表す。例(57)における“上得来”の主語が非情物の「品質」であるため、無意志動詞である。この場合、“上得来”は「『ワクチンの品質が上がる』という現象が現れる」の意味を表す。

##### 4.1.3. 時間を表す副詞“才”と共起する場合

Vが無意志動詞の「V + “得” + “来”」が時間を表す副詞“才”と共起する場合において自然な表現である。

(58) 本来医生还说, 不知道你要多久才醒得来呢。(邵薇《幸福烘焙坊》2004) (もともと医者は、あとどのくらいで君が目覚めるかわからないと言っていた。)

(59) 我告诉他们喀纳斯的第一场雪一般要到10月中旬才下得来。(例(5)を再掲) (「ハナスの初雪は普通10月中旬になってからはじめて降ってくるものだ」とあの人たちに教えた。)

(60) 首先, 得铲除多余角质, 让水分乖乖留在肌肤内, 养分也才进得来。(新华网2012年4月6日) (まず余分な角質を取り除き、水分をちゃんと皮膚の中に沁み込ませてからようやく養分が入ってくる。)

例(58)(59)(60)における“醒”“下”“进”は無意志動詞である。例(58)における“醒得来”は「『目が覚める』という現象が現れる」の意味を表す。例(59)における“下得来”の主語が非情物の「雪」であるため、無意志動詞である。この場合、“下得来”は「『雪が降る』という現象が現れる」の意味を表す。例(60)における“进得来”の主語が非情物の「養分」であるため、無意志動詞である。この場合、“进得来”は「『養分が入ってくる』という現象が現れる」の意味を表す。

## 4.1.4. 並列構造である場合

「V + “得” + “来”」と「V + “得” / “不” + “去”」,あるいは「V + “得” + “来”」と「V + “得” + “出”」のように並列構造を構成する場合において自然な文になる。

(61)最初设计三门峡水库的苏联专家没意识到泥沙问题,结果泥沙进得来出不去。(人民网2002年7月15日)(最初に三门峡ダムを設計する段階で、ソ連の専門家たちは泥と砂の問題を意識していなかったため、結果泥と砂が入ってくるが、出なくなってしまった。)

(62)萧风说,他这随身听,是极品,低音下得去,高音上得来,绕耳三日,余音不绝……(《北方文学》1999)(「このウォークマンは結構なもので、低音に下げることでもできるし、高音に上げることもできる。それで流された音楽がずっと耳に残る」と萧风は言った。)

(63)日前,记者从椒江区“五水共治”办公室获悉,该区投资720万元,建设山体雨水引流工程,实现清水进得来,雨水排得出。(台州日报2017年4月4日)(先日、本社のジャーナリストは、椒江区にある“五水共治”という事務室からある情報を手に入れた。この地域は720万円を投入し、山の雨水の引水工事を行った。そうすることによって、きれいな水が入り、雨水を排出できるようにしたいとのことである。)

例(61)における“进得来”の主語が非情物の「泥と砂」であるため、無意志動詞である。“进得来”と“出”は並列構造を構成し、「『泥と砂が入ってくる』という現象が現れる」の意味を表す。例(62)における“上得来”の主語が非情物の「ウォークマンの音」であるため、無意志動詞である。“上得来”と“下得去”は並列構造を構成し、「『ウォークマンの音が高音に上げる』という現象が現れる」の意味を表す。例(63)における“进得来”の主語が非情物の「きれいな水」であるため、無意志動詞である。“进得来”と“排得出”は並列構造を構成し、「『きれいな水が入る』という現象が現れる」の意味を表す。

## 4.2. 「V + “不” + “来”」の場合

Vが無意志動詞である場合の「V + “不” + “来”」は、「ある現象が現れない」という意味を表す。

(64)如果早晨实在醒不来,睡前可以让窗帘留出一条缝,让第二天的自然光来唤醒沉睡的身体。(例(3)を再掲)(もしどうしても朝は起きられないなら、寝る前にカーテンをわずかに開けておいて、翌日の自然光に眠っている体を起こしたほうがいい。)

(65)夜里,疲倦沉重的人们一时醒不来,那锣声就会长久地响着,直到人们一个个哈欠连天地走来。(人民网2017年3月14日)(夜、ひどく疲れている人たちはすぐには目覚めることができない。ドラの音は人々があくびをしながら出てくるまでずっとジャンジャンと響き渡る。)

例(64)(65)における“醒”は無意志動詞であり、「『目が覚める』という現象が現れない」の意味を表す。

(66)那天有下雨的迹象,天色晦暗,但雨却迟迟下不来。(例(6)を再掲)(その日雨が降りそうで、空も暗くなり、けれど雨はなかなか降ってこなかった。)

(67)在北方干燥的地界,稍有尘土腾空老半天都下不来。(人民网2015年12月2日)(北方の乾燥地域では、たまに砂ほこりが空に巻き上がり、なかなか落ちてこないこともある。)

(68)如果发现出水管口处堵塞,热水下不来,要疏通出水管。(徐文钦《低碳节能生活指南》2015)(もし排水管の出口が塞がって、お湯が下へと流れてこなかったら、詰まりを取ることをおすすめする。)

例(66)(67)(68)における“下不来”の主語が非情物の「雨」「砂ほこり」「お湯」であるため、無意志動詞である。例(66)における“下不来”は「『雨が降る』という現象が現れない」の意味を、例(67)における“下不来”は「『砂ほこりは落ちてくる』という現象が現れない」の意味を、例(68)における“下不来”は「『お湯は下へと流れてくる』という現象が現れない」の意味を表す。

(69)滩涂淤积到一定高度,潮水过不来,就没有多少鸟儿光顾了。(人民网2002年3月15日)(砂浜の砂が、ある高度まで積もってくると潮が流れてこなくなり、鳥も来なくなるだろう。)

(70)拉尔说,北半球的干旱与大雪严寒都与大气层“阻塞”有关,这主要因为一些地区冷空气过强,而热量或者湿气过不来,天气在部分国家保持了静态。(人民网2011年1月18日)(「北半球の日照りの暑さも大雪の寒さも大気圏の『塞がり』に関係している。それはある地域の冷気が強すぎて、熱量や湿気がこなくなり、一部の国では天気が静止状態になったからである」とラルが言った。)

例(69)(70)における“过不来”の主語が非情物の「潮」「熱量や湿気」であるため、無意志動詞である。例(69)における“过不来”は「『潮が流れてくる』という現象が現れない」の意味を、例(70)における“过不来”は「『熱量や湿気がくる』という現象が現れない」の意味を



表す。

この節の分析結果をまとめると、以下のようになる。「V + “得” / “不” + “来”」構造の前置動詞のVが無意志動詞である場合、「ある現象が現れるかどうか」という意味を表す。Vが主に有情物の無意識的な動きを表す動詞と非情物の変化・移動を表す動詞に分布している。「V + “不” + “来”」は自然な表現であるが、「V + “得” + “来”」は疑問文の場合、否定を表す副詞“没”“没有”“未必”と共起する場合、時間を表す副詞“才”と共起する場合、並列構造である場合において自然な表現である。

## 5. おわりに

本稿では「V + “得” / “不” + “来”」構造の構文的特徴について考察し、以下のような結論が得られた。②～⑤は先行研究を超えたものである。

- ① 「V + “得” / “不” + “来”」構造の前置動詞のVが意志動詞である場合、「ある動作が実現できるかどうか」という意味を表す。
- ② 「V + “得” / “不” + “来”」構造の前置動詞のVが意志動詞である場合、前置動詞のVは主に相互的な活動を表す動詞、飲食を表す動詞、移動の意味を含む動詞の“上”“下”“进”“出”“回”“过”，表現活動を表す動詞、客体の従属変化を引き起こす動詞、実行・対応の意味を含む動詞に分布している。
- ③ 「V + “得” / “不” + “来”」構造の前置動詞のVが無意志動詞である場合、「ある現象が現れるかどうか」という意味を表す。
- ④ 「V + “得” / “不” + “来”」構造の前置動詞のVが無意志動詞である場合、前置動詞のVは主に有情物の無意識的な動きを表す動詞と非情物の変化・移動を表す動詞に分布している。
- ⑤ 「V + “得” / “不” + “来”」構造の前置動詞のVが無意志動詞である場合、「V + “不” + “来”」は自然な表現であるが、「V + “得” + “来”」は疑問文の場合、否定を表す副詞“没”“没有”“未必”と共起する場合、時間を表す副詞“才”と共起する場合、並列構造である場合において自然な表現である。

以上のように、「V + “得” / “不” + “来”」構造の構文的特徴を明らかにしたが、残される課題もある。なぜ前置動詞のVが無意志動詞の「V + “不” + “来”」は自然な表現であるのに対し、「V + “得” + “来”」は

疑問文などの場合にのみ自然な表現であるかについてまだ明らかにしていない。それを今後の課題としたい。

## 謝辞

本論文を作成するにあたり、英語のアブストラクトの作成においてご指導を頂いた鹿児島国際大学国際文化研究科のマクマレイ・デビッド先生に深謝いたします。

## 注

- 1) すべての用例の翻訳は筆者が責任を負うものである。
- 2) 「V + “得” / “不” + D」におけるDは趨向補語（方向補語）の意味であり，“来”もDに含まれているとされる。
- 3) 安本がいう非自主動詞は日本語では無意志動詞のことであろう。また、自主動詞は日本語では意志動詞と呼ばれている。“自主動詞”と“非自主動詞”については馬庆株（1988）を参照されたい。日本語の「意志動詞」と「無意志動詞」については鈴木（1972）を参照されたい。
- 4) 本稿で取り扱うコーパスは人民网（<http://www.people.com.cn/>）（計16903例）と筆者が所持している資料（1960年代以後出版されたもので、計3049例）である。そのなか、Vが意志動詞である「V + “得” / “不” + “来”」の用例は12968例、Vが無意志動詞である「V + “得” / “不” + “来”」の用例は6984例である。
- 5) 可能補語は「V + “得” / “不” + 方向補語」「V + “得” / “不” + 結果補語」「V + “得” / “不” + “了”」のような構造を指す。「V + “得” / “不” + “来”」は「V + “得” / “不” + 方向補語」の一つとして可能補語に含まれている。
- 6) 本稿では、“合得来”“下不来台”“划得来”などのように既に意味が一つに定着したものを対象外とする。また、“聊得来的朋友”のような連体修飾語として機能する場合もあるが、本稿では取り扱わないことにする。
- 7) 本稿で取り扱う動詞の分類は工藤（1995）を参考にし、まとめたものである。
- 8) ここの“说”の客体が人であるため、相互的な活動を表す動詞として認められる。また、“我不会说普通话”（標準語が言えない）のような例文において“说”は相互的な活動を表す動詞ではなく、言語活動を表す動詞であると思われる。
- 9) 「認識の可能」は渋谷（1986）を参照されたい。認識の可能とは、あるコトガラの実現の可能性だと指摘されている。
- 10) 本稿で取り扱う文の類型と副詞の分類は北京大学中国語文学系現代漢語教研室（2004）を参考にし、まとめたものである。

## 文献

- 工藤真由美（1995）. 『アスペクト・テンス体系とテキスト—現代日本語の時間の表現』東京：ひつじ書房。
- 北京大学中国語文学系現代漢語教研室（2004）. 『現代中国語総説』東京：三省堂。
- 渋谷勝己（1986）. 「可能表現の発展・素描」『大阪大学日本学

報』, 5: 101-136.

鈴木重幸 (1972). 『日本語文法・形態論』東京: むぎ書房.

安本真弓 (2009). 『現代中国語における可能表現の意味分析—可能補語を中心に—』東京: 白帝社.

刘月华 (1998). 《趋向补语通释》北京: 北京语言大学出版社.

马庆株 (1988). “自主动词和非自主动词”《中国语言学报》第三期: 157-180.